



白山市における高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施 (R6～)

市の概況(R6.4.1現在)	市内実施体制	関係機関
人口 112,499人 高齢化率 28.8% 後期被保険者数 17,712人 後期高齢者健診受診率(R5実績報告) 40.6% 日常生活圏域 7圏域 平均寿命 男性:82.3歳 女性:88.6歳 死因 1位がん51.1% 2位心臓病27.8%	R元年度より、3課で連携会議を開催し、準備開始。 関係課3課で連携推進 市内連絡会議 年5回開催予定 ◆保険年金課(国保・後期医療保険、広域連合・国保連との窓口) ◆長寿介護課(介護予防日常生活支援事業当) ◆いきいき健康課(企画調整、特定・長寿健診、重症化予防担当)	白山ののいち医師会 白山野々市地区糖尿病重症化予防ネットワーク協議会 地域包括支援センター 石川県後期高齢者医療広域連合 (R6.5.23企画担当者意見交換会に参加、R6.7.31市内連絡会(広域連合との協議の場)参加、R6.8.24 e-スポーツ通いの場の視察、R6.10.2地域包括支援センター職員研修会事前打合せ及び10.21研修講師、R6.10.23通いの場体力測定協力、R6.11.1一体的研修会に参加)

現状と課題

- ・健診における有所見者割合では、肥満・中性脂肪が国・県より多く、摂取エネルギーの過剰がみられる。血圧は県より多く、HbA1c・腎機能においては国より多い。
- ・医療費分析では、外来・入院ともに循環器疾患の割合が高く、外来では、糖尿病・腎不全に占める割合も高いため、生活習慣病の重症化予防が必要である。
- ・要介護認定者の有病状況においては、筋骨格系疾患や認知症が多く、高齢者質問票でも歩行速度、転倒経験・運動の頻度、など県と比較しても低下がみられ、フレイル対策および認知症対策が必要である。

企画調整	ハイリスクアプローチ	ポピュレーションアプローチ	関係機関との実施体制
企画調整専門員:いきいき健康課保健師 ①情報分析(KDBの活用)、企画・調整 ・把握した地域の健康課題に対し、生活習慣病重症化予防対策やフレイル対策を主に企画・調整 ②関係機関との連携 ・市内連絡会の開催 ・白山ののいち医師会、白山野々市地区糖尿病重症化予防ネットワーク協議会、地域包括支援センター等との連携	①糖尿病性腎症重症化予防事業 対象:HbA1c8.0以上の未治療や治療中でコントロール不良者 ②生活習慣病重症化予防事業 対象;Ⅱ度高血圧以上(未治療)、e-GFR40未満、心房細動(未治療) ③おたっしや訪問(健康状態不明者) 対象:R5年度に健診・医療・介護のサービス利用のない人(2回目の訪問)	①健康教育・健康相談・出前講座 (健康教育・血圧測定など) ②フレイル状態の把握 ・通いの場での体力測定 ・e-スポーツ(10回1コース) ・シルバーリハビリ体操 (介護予防サポーターを体操指導士に養成)	

■R6年度 取組事業区分と評価（予定）■

ハイリスク アプローチ	取組区分	事業名	対象者数(見込)	評価指標
	重症化予防 (糖尿病性腎症)	重症化予防（糖尿病のコントロール不良者）	10人	・保健指導者数及び実施率、検査値の変化 ・未受診者等の医療機関受診率(治療率)
	重症化予防 (その他生活習慣病等)	重症化予防（血糖を除くコントロール不良者）	33人	・保健指導者数及び実施率 ・未受診者等の医療機関受診率(治療率)
	健康状態不明者対策	おたっしや訪問事業	70人	・訪問実施者数および実施率 ・必要なサービスにつながった人数と割合 ・血圧の変化、生活習慣の改善状況
ポピュレーション アプローチ	取組区分	事業名	対象者数(見込)	評価指標
	健康教育・健康相談	出前講座	60人	・実施した通いの場の数・参加者・継続参加率 ・必要なサービスにつながった人数 ・体力測定(握力)の変化 ・BMI・血圧の変化、生活習慣の改善状況 ・高齢者質問票による該当項目の変化
		シルバーリハビリ体操	30人	
	フレイル状態の把握	体力測定	60人	
		e-スポーツ	20人	

出前講座



シルバーリハビリ体操



体力測定



e-スポーツ

